

発がん抑制分子発見

DNA M-1 渋谷彰教授ら

筑波大学院人間総合科 容体分子である「DNA M-1」が、がんの発症を未
学研究科の渋谷彰教授(分)「1」が、がんの発症を未
子情報・生体統御医学専 然に防いでいることを発見
攻らの研究グループは昨 した、と発表した。
年十二月十七日、免疫系受 渋谷教授によると、がん

系によって発症を防いでい 物質を接種したところ、野
るという。しかし、その仕 生のマウスよりがんの発症
組みについてはこれまで謎 率が高くなったことから、
だった。 がんを殺傷する細胞がDN
同研究グループは、がん AM-1を介して作用して
細胞を殺傷する能力を持つ いることを突き止めた。
「キラーT細胞」や「ナチュラルキラー細胞」の上に存 子の研究結果は、がんの
在するDNA M-1を遺伝 予防や、治療に効果的な新
子欠損させたマウスを作 しい免疫療法の開発につな
成。そのマウスに発がん性 がるのが期待されるとい
う。